

地区名（ 浄楽・錦林東山 ）

地区幹事氏名（ 川見善孝 ）

## 地域研修会開催報告書

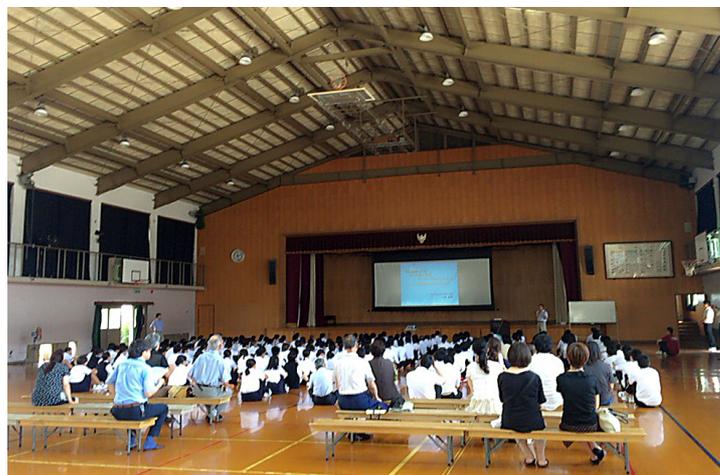
開催年月日	平成29年7月11日 14時20分 ~ 15時10分		
開催会場	岡崎中学校 体育館		
出席者	保護司名	中村慶寿・繁田彰・堀口廣・川見善孝、 齊藤靖子（岡崎）・鈴木美智子（吉田・聖護院） 鞍谷秀郎（養正）・村上ますみ（葵・下鴨） 久保優佳（北部）	9名
	関係団体名とその人数	全校生214、教職員29名 京都市教育委員会 戸田晃司、 PTA 戸川由紀・堀理恵・北村昌子・石田千鶴、 浄楽少年補導 下野治夫、交通安全 佐藤光一	250名
			合計 259名
テーマ	「みんな持っているたったひとつのスーパーコンピューター」 ～ いつまでも相棒として付き合うために～ 講師 川見善孝 京都府薬物乱用防止指導員・保護司・岡崎中学校 PTA 会長		
研修内容	<p>例年、浄楽・錦林東山地区では、岡崎中学校と第3錦林小学校を会場として、隔年ごとにミニ集会を行っています。</p> <p>今年は岡崎中学校を会場とし、6限の授業として、全校生対象に、「みんな持っているたったひとつのスーパーコンピューター」～ いつまでも相棒として付き合うために～ というタイトルで開催しました。</p> <p>また今回は、京都市立中学校 PTA 連絡協議会 親まなび委員会 左京支部の研修会も兼ねての開催となりました。</p> <p>内容は、薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」がベースになるのですが、どの啓発パンフレットを見ても、押さえつけの啓発が多く、「なぜ？」と考えさせられることが多いと常々思っていました。</p> <p>「なぜ薬物使用がダメなのか？」「1回でも乱用になるのはなぜなのか？」など、パワーポイントを用いて、「脳」が如何に素晴らしいものか、生命に関わる指令を出し、瞬時に行動に反映できる「素敵な脳」をかけがえのない一生の相棒として付き合っていくのか？と講演させていただきました。</p> <p>当日の朝、川見が定番になった「京の社明くん」の着ぐるみで登校を見守ります。校区の4人の保護司が校門に立ち、ティッシュを配り社明啓発をしましたが、生徒会の「あいさつ運動」と重なったため、生徒会メンバーも一緒に、あいさつ、社明啓発をしてくれました。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会活動</li> <li>・拠点啓発活動</li> <li>・その他</li> </ul>		

研  
修  
内  
容

12日は、第三錦林小学校に於いて、登校時にあいさつ、社明啓発を行いました。ティッシュの方は、学活時に先生から、子どもたちに配られました。

13日は、錦林小学校に於いて、登校時にあいさつ、ティッシュを配り社明啓発を行いました。

追記になりますが、今年は7月10日から18日まで「京の社明くん」を借りることが出来ましたので、12日の第三錦林小学校のあと、10:40～下鴨小学校、13:00～下鴨中学校、14:20～洛北交差点、15:30～葵小学校で啓発、15日は11:00～グレース田中前で啓発しました。



- 集会活動
- 拠点啓発活動
- その他

